

ユリウス保護者受験体験談

A 教室 Mさん 中学受験 保護者

「最後まで走りきることができた受験」

ユリウスには一度休会期間があつてから小 6 の夏期講習からお世話になりました。日能研の授業もあるので、体力的なことが一番心配でしたが、復帰してからの娘は無敵なくらい苦手教科の算数と過去問対策に取り組むことができたと思います。個人に合わせたプランでスケジュールを組んでいただいたり、いつも熱心に指導して下さった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の受験で一番感じたことは、志望校選びで複数校あつた場合でも、どの学校も第一希望だという気持ちでいることが大事だと思いました。なぜなら、どんな結果が出ても、受け止める気持ちと前向きな気持ちがあれば、それが“ご縁がある学校”だからです。

娘は第二希望の学校に進学しますが、第一希望同様に行きたい学校だったので、今から入学式を楽しみにしています。今まで支えて下さったユリウスのみなさまのおかげです。本当にありがとうございました。

H 教室 Nさん 中学受験 保護者

息子は自分の好きなことには熱中して取り組むのですが、勉強にはあまり興味がなく、中学受験もしないと言っていました。しかし 5 年の夏のある日、プールのない学校に行きたいと急に言い出し、不純な動機ながら中学受験を考え始めることになり、3 歳上の兄が通っていたユリウスは柔軟に対応いただけるため、お願いすることになりました。性格はマイペースで少し頑固な所もあり、興味のない教科の宿題をするように促すのも大変でした。公開模試も間違えの方が多いため、このままで受験できるところまでたどり着けるかも不安でした。

それでも息子は塾に行くことを一度も嫌がらず、淡々と通い続ける中で、次第に勉強する習慣が付き、漢字に関しては毎日五問ずつ覚え、週末に書けなかった所をやり直すことで書くことさえ苦手だった漢字も少しずつ覚えられるようになりました。他の教科も含めて努力が少しずつ実り、模試を受けるたびにできるところは増えていきました。課題をやってこなかったり、本人のやる気が見えなかったりした時も、指導者の方々はいつも丁寧に教えてくださいました。

過去問講座では毎回その日の終わりに親も結果や今後のアドバイスを説明していただきました。室長には面談をしていただき、志望校はかなり上でしたが受け入れてくださり、本人に合ったスケジュールを作ってくださいました。また授業の始まる前でも、授業がない日でも来ていいですよと言ってください、家でも勉強に気乗りがしなそうときは、早めに行き、自主学習をさせていただきました。そのように息子に寄り添って、応援して下さるのが嬉しかったです。

息子はユリウスに通って大きく成長したように感じます。日常生活でも社会の話題が出てきたり、食卓の話題でも漢字の話が出てきり、成績だけでなく、勉強に対する興味も向上したように思います。学校見学・文化祭などを通して、志望校へ行きたい気持ちが強くなりました。12 月時点の偏差値では合格圏には遠い状況でしたが、冬期講習や自宅学習、1 月も過去問に集中的に取り組み、第一志望に合格することが出来ました。

身に着けた勉強の習慣は忘れず、中学校生活を楽しく過ごして欲しいと思います。ユリウスの皆様、本当にありがとうございました。

H 教室 Uさん 中学受験 保護者

中学入試を通して、娘が一番大きく得たものは「努力は必ず報われる」という実感と、「努力することの大切さ」だったと思います。

思うように結果がでず、心が折れそうになったことも何度もありました。特にチャレンジ校に二度目の不合格をもらったとき、親としては「もう三度目は受けなくてもいいのではないか」と声をかけました。しかし娘は「もう一度チャレンジしたい」と迷いなく言い切りました。

その後、娘は入試問題をユリウスに持って行き、わからなかった問題に最後の最後まで向き合い続けました。結果だけでなく、その姿勢そのものに親として胸を打たれました。

そして迎えた三度目の挑戦で、合格を勝ち取ることができました。その瞬間、親として大きな感動とともに、これまでの努力がすべて報われたと感じました。

この経験を通して得た「諦めずにやり抜く力」は合格以上に、娘にとってこれからの人生の大きな財産になると確信しています。

最後になりますが、ユリウスの先生方には最後の最後まで娘を見離さず、寄り添い、支えてくださったことに心より感謝申し上げます。このような環境で学ばせていただけたことを親として本当にありがたく思っています。

O 教室 Sさん 中学受験 保護者

中学受験をしたいと言い出したのは小5の秋。受験はしないという意味確認を何度も行い地元中学に通うものと思っていたのでとても驚きました。

行きたい学校は2校に絞られておりましたが、いずれの学校も判定模試で50%以上を見ることは一度もありません。いま年末を迎えました。それでもラスト1か月、おそらく本人の中でも一番頑張っていたかと思います。不安ばかりの受験生生活でしたが、希望の学校から合格をいただくことができました。模試の結果が散々なまま本番を迎え、本人はかなり不安だったと思います。実際入試結果も残念だった回も多数ありました。そんな不安とプレッシャーと戦って結果を得られたという経験はとても大きいと思います。この先も様々なことがあると思いますが、諦めずに頑張っていってほしいです。

あめでとう！！がんばったね♪

I 教室 Oさん 中学受験 保護者

中学受験は、特に女子の場合、人によっては反抗期の入り口として時期が重なります。我が家がまさにそうでした。小5までは私(母親)の声掛けに素直に応じて勉強していましたが、新小6が始まる頃から反抗期に入り、宿題もテスト勉強もしない、挙句の果てには日能研にも通わなくなり、成績は急降下。成績が落ちてますます勉強する気が失せたのかもしれない。それでユリウスに指導を一任することにしました。

この受験で親として一番大変だったのは、とにかく小言を言わないこと。私が声をかけるだけでものすごく不機嫌になり、言い合いになって悪循環なので、小6の夏ごろから私は(言い方は悪いですが)放置することに決めました。娘には、「もうママは口出しするのをやめます。受験するかしないか、勉強するかしないかはあなたが決めなさい。ただもし残念な結果になったとしても、それは自分が決めた行動の結果だから絶対にママや他の人のせいにしないこと」ということだけ伝えました。秋以降も相変わらず勉強を全くしない娘にイラ

イラし、「そんなに勉強しないでよく平気でいられるね」と嫌味の一つも言いたくなるのを、ぐっと我慢。これは本当に忍耐が要りました。私は過去問のコピー、スケジュール管理、頼まれれば過去問の採点とユリウスの送り迎えだけ淡々とこなし、あとは仕事と家事に専念。内心、このままでは絶対に受からないという焦りと絶望もありましたが、それを娘にぶつけても解決しないので、とにかく心を無にすることに徹しました。

そんな娘も、冬休みに入った12月26日、いきなりスイッチが入り、人が変わったように勉強し始めました。遅まきながら、このままだとまずいという危機感が彼女の中で生まれたようです。それまでいくら言ってもやめなかったSwitchを、自分から触らなくなりました。それまで私が話しかけると不機嫌になっていたのが、私に色々アドバイスを求めてくるようになりました。これは本当に驚きの変化でした。最後の1ヶ月だけですが、娘は本気で勉強しました。そのおかげか、12月の最後の模試まで判定30%未満だった学校からなんとか合格をいただくことができました。模範的な受験生ではなかったので参考にならないと思いますが、この受験を通して私が痛感したのは、大事なのは子供を信じること、そして親は（ダメだったら公立があるかいいや、くらいに腹を括って）子供の自発性が芽吹くのを待つことです。それと12月の最終模試の結果はあくまで模試の結果だということ。子供は最後の1ヶ月で驚くほど伸びます。また、娘は2月1日の午前と午後、同じ学校を受けましたが、午前は不合格、午後はR4偏差値が高くなるのになぜか合格をいただけました。当日の問題との相性、その学校に入りたいという本人の執念、入試の可否は偏差値だけではない色々な要素が絡んで予想外の結果がでます。最後まで子供の力を信じて、諦めないで志望校を受験してみてください。

O 教室 Sさん 中学受験 保護者

わが家がユリウスに入塾したきっかけは、志望校を目指すために算数強化による日能研のクラスアップを目指したことでした。まずは差のつきやすい算数について個別指導で弱点を集中的に補強したいと考え、入塾を決めました。

中学受験は親主導でスタートしたため、新6年生になっても、子どもには「勉強をやらされている」という意識が残っていました。しかし、気になる中学が出てきていたので、少しずつ「志望校に合格するために勉強する」という姿勢に変化していきました。本番直前の1月には、自らホワイトボードに4科目それぞれの弱点を書き出し、対策を考えていた姿を見て、ここまで成長したのだと感じました。

一方で、ゲームや動画は、最後まで完全にはやめませんでした。ただし、時間を決め、「心を元気にするための息抜き」と位置づけました。大人でも一日中やるべきことだけを続けるのは難しい中、12歳前後の子どもにそれを求めるのは酷だと思ったからです。楽しみがあるからこそ、苦しい受験生活も乗り越えられると考えました。ただし、「ゲームはいつでも何度でもできるけど、中学受験は小学6年生しかできない。もう1回やりたいと思ってもできないから、後悔しないようにしよう」ということは伝えていました。

家庭学習で効果を感じたのは、学習漫画や百マス計算でした。特に百マス計算は、短時間で集中力を高められ、日々の勉強のウォーミングアップとしても、入試当日のルーティンとしても大きな役割を果たしました。

志望校は、4年生から可能な限り説明会や学園祭に参加し、5年生の時に本人が興味を持った2校に出会えたことで、6年生のころには志望校として意識するようになりました。親としては他にも気になる学校はありましたが、親が良いと思う学校でも、本人の気持ちが乗らなければ続きません。最終的に、親子の希望が一致した学校選びができたことが、受験期を乗り越える大きな力になりました。また、「何がなんでもこの学校」ではなく、第1志望と第2志望は偏差値が5程離れていましたが、どちらも第1志望と思えるくらいに親子とも2つの学校を気に入っていたことも精神面の安定にはよかったと思います。(第3志望、第4志望

それぞれ子供が通いたいと思える学校を選びました)

1月受験の後、直前期に意識したのは、「最後に親ができる唯一にして最大のサポートは、当日、最高の精神状態で子供を試験会場に送り出すこと」だという点です。子供は「大丈夫」「全然緊張してない」と言っていたのですが、時折、無意識に大きく息を吸い込む回数が増えている様子が気になっていました。そこで直前期は追い込みよりも、生活リズムの安定と精神面のケアを優先しました。その結果、精神的にも落ち着いた状態で本番を迎えられたと思います。(夜寝る前に「ゲームしたい」と言われたときは「あなたは、今、何を目標しているんだっけ?」とドスの効いた声が出てしまいましたが、すぐ反省しました・・・)

入試を通じて、「子どもは入試期間中でも伸びる」という言葉は本当にその通りだと実感しました。不合格を経験しても気持ちを切らさず、できなかった問題の直しに向かう姿に、大きな成長を感じました。結果以上に、この努力の過程と精神的成長こそが、中学受験で得た最大の財産だと思っています。

これから受験を迎える方へお伝えしたいことは、1月受験校と併願パターンは考えすぎというほどに何度も、何パターンも考えておくことが重要だということです。そして、1月は特に合格可能性の高い学校を受験することが大切ということです。模試の合格判定とは違って、本物の「合格」の価値は偏差値に関係なく、子供にとっても親にとっても本当に大きいということを実感しました。

わが子は夏休み明けに失速し、早起きも朝のルーティンもできなくなりました。今思うと、親子ともども夏で疲れ果ててしまったのだと思います。そこからなかなか成績があがらず苦しい状況が続きました。それが、1月の受験で本物の合格をもらってからは、また早起きができるようになりました。子供自身も無意識のうちに、「勉強しても成果が出ない」という閉塞感に押しつぶされそうになっていたのかもしれない。そのような中で、たとえ通う可能性が低い学校でも、本物の合格をいただけたことが目に見える「成果」として確かな手ごたえになったにだと思います。

1月受験で自信をつけたものの、わが子の後期の成績と過去問も得点状況を考慮して、本人の希望もあり「2月1日は第2志望を受験、これに合格出来たら、2日以降は第1希望にチャレンジする」という併願パターンに決めました。本来であれば、2月1日が最も倍率も偏差値も低く、合格可能性があるのも第1志望を受験したいところですが、第2志望も子供が熱望する学校だったこともあり、より確実に合格を取りに行く作戦をとりました。さらに、第2志望は実力相応校なので、万が一悪い結果だった時のために、お守りとして2月1日の午後は、過去問の手ごたえなどから、ほぼ確実に合格がもらえる可能性が高い学校を受験しました。

念願の第1志望の合格は、1日の第2志望の合格があっただけだと思っています。それほどに、子供の精神状態が当日に実力以上の力を発揮できるか否かを左右するのだと実感しました。

最後にユリウスの先生方へ。6年生の5月から、週2回と過去問完成講座で二人の先生にお世話になりました。日能研の先生や親よりも年齢が子供に近いからなのか、同じことを伝えていても、ユリウスの先生からのアドバイスのほうがより子供に浸透しやすかったように感じます。なかなか成績が伸びないなかでも、どちらの先生も根気強く、志望校合格のために最後まで丁寧にご指導くださったこと、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

S 教室 F さん 中学受験 保護者

2月の受験がスタートしてから、なかなか合格が取れず苦戦していました。不合格の結果を見るたび、本人はもちろん親も落ち込みましたが、絶対あきらめないという気持ちを持ち続けて入試に挑み、合格を手にしたのは本人の強さだったと思います。第一志望に合格できなかつたくやしきはあると思いますが、この気持ちをバネにさらに成長していくことを母親として願っています。

A 教室 T さん 中学受験 保護者

「H 中に行きたい」と中学受験に挑戦すると決めたのが6年生の5月末。それからH中への合格実績が多いユリウスの門を叩きました。受験勉強のスタートが遅く不安でしたが、志望校が固まっているので受験戦略を立てやすく「合格は十分にあり得る」と力強くおっしゃっていただき、希望を感じたのを今でも覚えています。

例年の出題傾向や得点源となる単元を熟知されており、志望校に合わせた学習計画で丁寧にご指導いただきました。これこそが個別指導のよいところだと思います。過去問講座では、はじめは全く合格最低点に届かなかったのですが、繰り返すうちに徐々に合格ラインを越えられるようになりました。あれだけ解けなかった計算もスラスラ解けるようになっていて、子どもの成長に驚きました。この8ヶ月間で、出来ないことを少しずつ出来ることに変えていただき、子どもも自信に繋がりました。

年末年始や受験本番当日の過ごし方までアドバイスいただき、これまでたくさんの受験生を送り出してきた経験全てを私たち親子に注いでいただきました。無事にH中に合格しましたが、ユリウスの先生方と二人三脚で目標に向かって一緒に戦って勝ち取った経験こそが子どもの人生の糧になると信じております。本当にありがとうございました。

S 教室 T さん 中学受験 保護者

ユリウスに通ってみようか？と親子で話したのは、本人の口から“算数で苦手な分野がある”“振り返りの仕方がわからない”という言葉が出たからです。もともとは中学受験は考えておらず、勉強を好きになって学ぶことの楽しさを知ってほしい気持ちから日能研に入り、口べたな息子が自ら行きたいとユリウスに入って、みるみると勉強を好きになって算数が得意になって前向きに勉強をするようになりました。ユリウスの先生のおかげで算数も理科も得意になった！わからないところができるようになった！！と話すようになり、6年生では自ら行きたい中学校を目指して苦手な部分もとりにくめるようになりました。先生のおかげで悩みもわかってもらえることができ、歳が近い先生があこがれの存在となり、入試直前には、“先生たちのように自分も教えてあげられる存在になりたい”と言って、親としてはこれ以上に嬉しいことはありません。中学受験を通して、ユリウスで学んだことは勉強だけではなく、感謝の気持ちを学ぶ楽しさです。競争することが苦手な息子が個別指導でぴったりの学習ができたと思います。本当にありがとうございました！！

S 教室 Tさん 中学受験 保護者

4年生から通い始めた日能研ではずっと下から2番目のクラスでした。特に国語が苦手で、テストではいつも長文を時間内に読み終えることができませんでした。家庭での学習も集中できず、宿題に取り組むことさえ難しい状況。

5年生の後半、ユリウスに相談に行き、そこから受験終了まで通わせていただきました。授業の復習、栄冠、漢字・語句など、しっかり課題に取り組むところからスタート。国語の勉強法や、読解のコツなども色々教えてもらいました。しかし成績はすぐには上がりませんでした。

6年の夏頃に志望校が決まりましたが、第一志望のサレジオ学院の上位校日特には偏差値が足りず入れませんでした。そこでユリウスの過去問完成講座を申し込み、通常の日特と並行して過去問対策をお願いすることに。また、冬期講習以降は国語以外の科目も、苦手分野、および第一志望の頻出分野を強化するなど、柔軟に対応いただきました。

自宅でも過去問には取り組みましたが、6年生後半は日能研の本科や日特で多忙な日々が続き、子供は常に疲れていました。過去問のスケジュールを組んでも、疲れたと言って泣き、予定通りにこなせない事も多くありました。そんな状況でも、ユリウスでは先生が丁寧に優しく見てくださるので、集中して過去問に取り組みたいようです。

気づけば夏休み明け最後のクラス分けでクラスアップを経て、国語の偏差値は5年平均43から、6年12月の最終模試56まで上がり、4教科の偏差値も上がっていました。

そして迎えた2月1日。受験を終えて出て来た子供の表情は、緊張と不安もありつつ、充実感に溢れていました。結果は第一志望合格。ユリウスの室長先生も一緒に喜んでくださり、とても嬉しかったです。

常に的確なアドバイスをくださった室長先生、また、子供の特徴に合わせて優しく指導してくださったユリウスセンター北教室の先生方には大変感謝しております。ユリウスでの指導がなければ第一志望校合格は実現できませんでした。また、ここで頑張って勉強したことは今後中高での勉強にも必ず役立つと思います。本当にありがとうございました。

M 教室 Tさん 中学受験 保護者

我が子は最初、中学受験には後ろ向きでした。受験は怖い、大変という気持ちしかなかった様です。とりあえずやってみる・・・という話になり、中学受験の勉強をする事になりました。

変わり出したのは、ちょうどユリウスに通い始めた頃。算数でつまずきがあり、長男の時もお世話になった担当の先生に見て頂く事にしました。お蔭様でユリウスが楽しい！と通塾してました。お気遣いや教え方が上手なので大変有難かったです。日能研の講習が忙しい時は愚痴も相当に言ってたと思います。(大変申し訳ございませんでした・・・!)あまり勉強に前向きになれない時も少し雑談して下さり、リフレッシュのサポートもありがとうございました。ツライ時もなんとか乗り越えられました。ユリウスでは算数の理解力が身につく、自信も持てました。学ぶ楽しさも教えて頂きました。教室の雰囲気もアットホームなので個別ならではの面倒見の良さがありますので、メンタル面でも本人は支えられていたと思います。お蔭様で学びに背を向ける事なく、目標を持って最後まで受験勉強に取り組めました。結果、無事に第一志望に合格する事が出来ました！本当にありがとうございました。これからは中学講座でお世話になりますが、今後共よろしくお願い致します。

O 教室 O さん 中学受験 保護者

息子は算数が特に苦手で、せっかく国語でいい点数を取っても算数でびっくりするような点数を取って足を引っ張ってしまう状態が続いていました。日能研の先生からも受験の要は算数と繰り返し聞いていましたし、家族も受験算数のフォローができない為、夏期講習と同時にユリウスをお願いすることにしました。

初めは通う事を嫌がっていましたが、9月に先生が固定になってからは何も言わなくなりました。担当の先生はすぐに答えや解き方を教えるのではなく、問題をよく読もう、グラフや情報からどう考えた？と自力で答えにたどりつく方法を身につける指導をしてくださいました。ケアレスミスや勘違いミスが少しずつ減ってきて、秋以降から急に日能研のテストでもクラス平均まで取れるようになってきました。本人も実感してきたようで、過去問もすすんで算数をやるようになりました。今までの低空飛行の状況から抜け出せ、本当に感謝しています。

そしていよいよ受験スタート。過去問での出来も比較的良かった為、第一希望の学校もいけるかなと思っていましたが、現実には甘くないどころか非常に厳しかったです。1日2日と午前午後4校受けましたが不合格。安全校にしていた学校に2回とも不合格に親はかなり動揺しました。本人は1回目の第一希望では手ごたえもあっただけにショックだった様子でしたがまだ2回目もあるし3日以降頑張り続けよう！と励まし続けました。しかし、3日目の第二希望校、4日目の2回目の第一希望校チャレンジも残念ながら不合格。12歳の受験生は緊張もするし、連日の早起きに慣れない電車移動の疲れも重なるし、頑張っているのに6連敗。想像以上のしんどさで息子はぼこぼこにされたボクサーのような状態でした。残るは5日目の3回目の第二希望校。ユリウスの先生からもお電話いただき、野球も最後に点が入ることはよくあるからまだ受験の試合は終わってないよ、とお言葉を頂き、塾では5日目の学校の対策をして下さり、やっている事は間違っていないよ、力はあるよ、諦めないで、とメンタルを立て直して頂き翌日、最後のチャレンジに向かいました。試験会場から出てきた息子は小さな声で「思ったより出来た気がする！」と言いました。そして、その夜、初めての「合格」画面と対面できました。

受験を通して、絶対に大丈夫！はありませんが、絶対無理！もありません。最後まで諦めないで続けたら見える景色はあります。親は子供の健康面、なるべくいつもと同じ環境を与え、そして何よりも落ち込んでいる子供と一緒に共倒れしてしまうのではなく、大丈夫だよとメンタル面を支えるセコンドになることだと思います。沢山の受験のプロの先生方に支えて頂いたおかげで今があると思います。ありがとうございました。

H 教室 H さん 中学受験 保護者

娘は算数が苦手だったのでユリウスさんへ入塾を決めました。第1志望はC中学校です。学校の図書館が私立中学の中で最大級と、本好きな娘にとってはとても魅力的な学校でした。

算数の過去問では初めの方は12点と17点！とびっくりするほど点がとれず、これは無理かな？と親の私があきらめたくなる点数でした。でも娘は大笑い。中学受験では子供より親があきらめてしまうことがよくあると聞いていましたが、まさにその通りだと思い、続けることにしました。ユリウスさんでは大問1と2と前半テスト部分の対策を最優先してもらい、娘には毎日10~20分程度の計算を実行。過去問は1月終わりまで続け、約6~7年分やりました。最低点をこえる年は1回しかありませんでしたが、娘の頑張り感動し、2月1日の試験へのぞみました。そして、2月1日に合格を頂くことができました！初めは信じられませんでした、うれしかったです。試験は何が起こるか分かりません。あきらめないことが大切だと思いました。

M 教室 Kさん 中学受験 保護者

6年春の日能研個人面談で、担任の先生より「過去問対策でユリウスにお世話になるのも一つだよ」とご提案いただきました。母親の私が勉強のことで息子にアドバイスしても口論になることが多かったので、親子関係を良好に保つためにも、ユリウスで指導してもらおうと思い、過去問完成講座を申し込むつもりで伺いました。ただ、模試や日時、学校行事などと講座開設日が重なってしまい、受講できる日がほとんどありませんでした。そこで、9月から平日週一コマで過去問の解説（苦手な国語の記述）をしてもらうことにし、息子は指導前に自習室でその日扱う過去問を解き、指導後も復習や日能研の宿題を済ませるなど、ユリウスで有意義な時間が過ごせたのではないかと思います。

また、入試直前期には算数の過去問も指導していただいたりと、こちらの要望にも柔軟に対応して下さいました。通塾したのは5ヶ月間と長くはありませんでしたが、色々なスタッフの方に「いつも自習室で頑張っています」とお声もかけていただきました。たくさんの方々を支えられ、息子本人が志望する学校に合格することができました。本当にありがとうございました。

M 教室 Sさん 中学受験 保護者

子供は、算数・理科が苦手で、私も毎日栄冠への道と一緒に勉強していましたが、自分が理解するのに一杯で、分かりやすい説明ができず時間だけを費やしてしまい、焦りを感じて夏休み少し前に入塾しました。今思えば、毎週末のテストの結果や偏差値ばかりを気にして、子供のできない部分だけしか見えず不安視していた私ですが、ユリウスの先生より、子供の頑張る姿、できるようになった箇所、得意な科目を活かして総合得点を上げる事などプラスのお話を共有いただけたことで精神的にも安心して応援することができました。そして、子供をじっくり見ることができたことで、併願校を選ぶ際には、子供が居心地良いと感じるであろう学校、弱いところを強化していただけたような学校を選ぶことができました。（我が家は、お勉強、大学進学結果以外の点で併願校を選びました。）

結果的に子供は、得意な社会・国語は一人でコツコツ勉強し、安定的に得点源とできるまで頑張りました。苦手な算数はユリウスで勉強の仕方から教えて頂き、少しずつ“できる”を増やし、苦手意識を克服できました。苦手な理科は最後1月、ほぼ自力で基本問題を解けるレベルまでに完成させました。（ユリウスで勉強の仕方を教えて頂いたおかげです。）子供には、勉強の頑張り方も色々あり、自分一人で難しい事も周囲に助けてもらいながらも努力を続ければ花開くことを忘れずに中学校でも積極的に学んでほしいと思います。

T 教室 Wさん 中学受験 保護者

ユリウスには4年生の2月から入塾しました。3年生から別の塾に通っていたのですが、その塾と合わず、すぐやめることにしました。しかし、やはり受験をしたいということで、4年生の1月に日能研に入ろうとしたら入塾試験に合格できず、個別指導塾を探してユリウスに出会いました。室長や先生と相談の上、まず日能研に入塾することを目的に通い始めました。先生の指導もあって日能研には5年生の6月に合格しましたが、日能研のテストで全く点が取れず、日能研とユリウスの両方に通い、日能研での学習サポートをユリウスにお願いするという形になりました。この時点で受験までは2年を切っており、全ての科目が平均以下という状態からのスタートでした。最初、娘は受験に対してどこか他人事のようにでしたが、ユリウスで担当して下さった先生に憧れ、「先生のようにになりたい」と勉強を真面目に取り組むようになりました。

ユリウスで最もありがたかったのは、スケジュールを管理してくださることでした。娘も親も、小学校と日能研の両方から出される宿題をこなすので精一杯で、志望校をいつ決めればよいのか、過去問はいつから解き始めればよいのかもわからない状態でした。そんな中、ユリウスの先生は志望校の決め方や、学校説明会の案内をしてくださり、何度か学校説明会に足を運ぶことで、学校の雰囲気や入試対策も見えてきて、何より娘が「この学校を受験する」と実感が湧いたのが大きかったと思います。また、娘は暗記科目が苦手で、特に地理が壊滅的でしたが、日能研の教材でもある「メモリーチェック」を、いつまでに何番をやればよいかのスケジュールを作っていただき、それに従うことで徐々に理科と社会の得点も上がっていきました。受験が近づくと、志望校を二校に絞り、ひたすら過去問を解くことにしました。この時も、いつまでに何年度の過去問を解けばよいのか、ユリウスの先生がスケジュールを作ってください、家で過去問を解いて採点し、ユリウスで解説を受ける、という形で試験対策に取り組みました。最終的に赤本は、第一志望校は二周、第二志望校も一通り解くことができ、ある程度慣れた状態で本番を迎えることができました。試験スケジュールも、ユリウスと日能研のアドバイスに従い、第一志望校を何度も受験する予定を組みました。

1月に、受験に慣れるために受験した学校で合格を頂き、いけるかなと思いましたが、2月1日は娘も緊張してしまい、午前受験、午後受験とも不合格。しかし、受験の雰囲気に慣れたのか、2日目の試験では本来の力が出せたようでした。すぐに二日目午前の結果が合格だとわかり、さらに午後に受験した第一志望校の合格の知らせを見て、親子で大喜びしました。

入塾当初の成績から考えると、かなり挑戦的な学校に合格できたのは、ユリウスのおかげだったと親子で感謝しております。本当にありがとうございました。

S 教室 Mさん 中学受験 保護者

日能研に通うかたわら、ユリウスには5年生の冬から週2回でお世話になりました。夏からは過去問対策講座もお願いしました。

我が家は兄が全寮制の中高一貫校にお世話になり、家庭では出来ない体験をし見違えるほど成長した経験から、本人も寮のある学校、できれば全寮制の学校への進学をさせたいと受験の早い段階で決めて、志望校を絞りました。東京都の受験は通常2月スタートですが、息子は12月が第一志望校の受験でしたので、他の受験生より1か月半近く早い時期に、受験レベルの学力にならなければいけない、のんびり屋の息子にはこのことが何より危惧した点でした。

室長先生に相談し、当初は日能研の復習をお願いしていましたが、6年生の夏休み後半から志望校の過去問対策を重点的に行っていただきました。ユリウスはその日行った内容や今後復習すべき箇所をレポートでお渡しいただけるので、とても安心できました。土、日曜日や祝日に1日かけて、その場で過去問を解き、丸付け→できなかった問題を解説していただける過去問講座は、共働きで子供の勉強を見てあげられない家庭にはとても助かりました。

結局、第一希望の学校は12月の入試は不合格、1月の2回目の受験で合格することができました。室長の室長先生は常に穏やかに、柔軟に手厚くご対応していただきました。12月の不合格のあと、息子へのお声かけ、フォローはとても素晴らしく、落ち込むことなく気合を入れていただきました。

ユリウスはまさにオーダーメイドの受験対応をしてくださいます。個別指導でどこが良いか迷っている方には自信をもってユリウスをお勧めしたいと思います。本当にありがとうございました。

H 教室 O さん 中学受験 保護者

【入塾の経緯】

3年生の2月から日能研に4教科で入塾しました。それまでは水泳やピアノ、そろばんなどの習い事だったため、最初は進学塾のスピード感やテキストの使用方法がわからず初めての育成テストは、我が子がこんなにできないのか！（小学校ではほとんどが100点近い点数だったため）とショックを受けました。それでもいつかは追いつけると考えておりましたが、国語以外は私たちが必死に伴走しないと偏差値が保てなくなりました。特に算数は4年生の途中で基礎が全くわかっていないことが判明し、日能研からユリウスを紹介されて週に1度お世話になりました。ユリウスに通い成績が安定したためいったん日能研のみにもどし、日能研のオプション講座などで忙しく過ごしておりました。5年生の夏くらいに、室長から「大分成績があがったのでA3に上がれるかもしれません」と言われて浮かれた瞬間「でも算数の基礎が固まっていないので、今は感覚で解いております。6年生になったら、一番下のクラスに落ちるかもしれません。対策をお願いします。」と立て続けに言われてしまったのです。どういうこと！？と思いながら過ごしていると、予告通り、6年生の本科の始まる4月前に一番下のクラスになってしまいました。パニックになり、以前立て直していただいたユリウスで再度お世話になりたい！と夫婦で話し合い、日能研のオプションを外して週2回算数を見て頂くことになったのです。

【ユリウスの先生へ】

娘は懐いていた日能研の室長が6年生のコースが始まる時に他校に移動したことで動揺し、さらに算数の成績悪化の中、不安の6年スタートでした。4年生で少しの間でしたがユリウスの先生に教えて頂いたときに、ユリウスの先生も室長と同じくらい話しやすいしわかりやすい！と言っていたので、6年生でまたお世話になると、算数のどこがわからないかもわからないくらいになってしまっていた娘が「ユリウスの先生がいるならできるようになるかも」と前向きになってくれました。先生を絶大に信頼していたのもあり、日能研とのダブル通塾は大変に思いましたが、わからないところはユリウスの先生に聞く！を徹底したおかげで、過去問で最初は点数がとれなくても本人は全く動じませんでした。合格点には到達することもありましたが、本番はどうなるかと心配でした。2月1日に午前午後落ちたとき、娘は号泣し「あんなに解けたのになんで落ちるの？」と号泣しながら眠りに落ちました。その姿に私は眠れず、先生におもわず夜中1時過ぎなのにメッセージを送ってしまいました。すると「〇〇ちゃんは大丈夫です。頑張りましょう」と夜中にもかかわらず、返信していただき、翌日も5時に起床し午前午後を戦う娘をどう支えていいか、もはやパニックになっていた私を冷静に戻して頂きました。感謝でいっぱいです。2月2日の午前の第一志望校に控え室から試験場に行く際、娘はみたことがないくらい強い表情で「行ってくる。ベストをつくしてくる。わたし大丈夫だから」とまっすぐ試験場を私に振り向きもせず向かう姿は一生の思い出です。午後「ユリウスの先生が大丈夫だといってくれた理科があるから、国語も自信あるし大丈夫」と言って、午前の疲れを見せずに、やはり振り向きもせず向かいました。ここまで自信をつけていただいたのも、しっかりと娘の性格を理解しながら、娘に合致する指導をして頂いたからだと思います。ユリウスのおかげで娘の日能研偏差値より6~7以上の第一志望校に合格できました！！ユリウスに行っていなかったら4年生からの憧れの学校に合格はできなかったと思います。ありがとうございました！

T 教室 O さん 中学受験 保護者

ユリウスに入塾したきっかけはホームページでした。娘は算数が大の苦手で、わからない問題を質問するのも恥ずかしいとためらってしまう性格でした。どうにかならないかと思い、ユリウスのホームページを見ていたら、先生のほとんどが私立中高一貫校出身の中学受験経験者である事がわかり、年齢も近いことから娘も気軽に質問もでき、親近感も感じて苦手教科も克服できるのでは？と考え入塾しました。

ユリウスに入塾してからは、日能研の算数の授業がわからなくても、そのまま放置する事がなくなりました。特に娘にとって良かった点は育成テストや全国模試間違え箇所やり直しの方法だと思います。やり直しを正答率〇%以上で間違えた問題と限定していただく事で、娘のレベルにあった復習となり、算数わからない！が少しずつ理解する事ができるようになりました。夏期講習後には基礎固めがおおむねできたのではと思います。2学期に入ってからは、志望校の過去問題にかなり苦勞しましたが、通常授業でのフォローや過去問完成講座で効率よく学習ができ、繰り返し復習した事が、志望校の合格につながった大きな理由だと思います。

また、娘が入試を通して得られた事は自分に自信を持たせた事です。3年間も切磋琢磨し続け合格を勝ちとった事は大きな自信にもつながりましたし、一生の財産となったと思います。「やだ！算数嫌い！」といいながらも、最後まで逃げる事なく立ち向かった姿は親としても誇りに思いますし、本当に幸せな気持ちにさせてくれました。娘に感謝したいと思います。

最後にいつも気にかけてお声がけいただいた室長、いつも励まして親身になって担当指導して下さった O 先生、授業を受け持っていたいただいた先生方。本当にありがとうございました。何より気さくに接していただいた事で、娘も楽しく通塾する事ができ、安心してお任せする事ができました。中学でもお世話になりますので、今後ともどうかよろしくお願ひ申し上げます。

T 教室 N さん 中学受験 保護者

自分だけでは勉強に限界を感じ、力を借りようと思い入塾させました。その頃と比べると、勉強に向かう姿勢が受け身ではなくなったと感じます。小学校周辺の友人達が遊んでいる中、毎日の塾に嫌気がさしたり、プレッシャーに潰されそうになりながらも、抗う姿は心配で不安でした。よく乗り越えてくれたと思います。

S 教室 O さん 中学受験 保護者

我が家は6年生の夏前からお世話になりました。結論、お世話になって本当によかったです！もし、ユリウスに通っていなかったら、第一志望校への合格は難しかったと思います。特に「算数」「理科」は苦手分野……。苦手というより致命的……。日能研の授業を受けても自分に腹落ちさせるまで理解はできておらず、計算も途中計算を省いてしまったり、苦手意識が強かったと思います。そんな中でも個別でじっくり教えてくれるユリウスは本人にとっても心強い存在で「わからないところはユリウスで確認」が定着してくることで、わからない問題をしっかり腹落ちさせて安定して計算、一行問題が解けるようになりました。

志望校は持ち偏差値よりも高くチャレンジだったと思いますが、3回目のチャレンジで合格をいただき本当に嬉しかったです。先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

H 教室 N さん 中学受験 保護者

姉が中学受験をしていたので同じく小学 3 年生の 2 月から塾に通い始めました。集団塾だったので授業がすすむうちにわからなくても先にすすんでしまうということが増えていきましたが、本人に聞いても「わからない」とは言いませんでした。わからないまますすんでいってしまうことで塾に通うのが辛くなってきたのかやめたがり、一度退塾し自分で勉強をする形となりました。しかしうまくいかず、6 年生の 4 月末よりユリウスでお世話になることになりました。本人に合わせて教えていただけたことで少しずつですがわからない所を聞いたりすることができるようになり集団塾の頃よりはできる事が増えたのを本人が感じていたようです。入試が近づくとつれ、得意不得意はあったものの、今まで書けなかった国語の文章が書けるようになり得点が伸びるようになり、本人も自信が持てたようでした。生活面でも規則正しい生活で、早寝早起きで朝型の生活に変えたことが良かったです。姉の受験前と比べると「勉強しなくて大丈夫？」と心配が付きませんでした。しかし本人は親の気持ちを知ってか知らずかマイペースで、入試当日もいつも通りという感じでした。結果としては受験した中学 3 校に合格ということで、4 月からは本人が行きたいという所へ入学することができます。根気強く教えてくださった先生方に感謝です。ありがとうございました。

H 教室 K さん 中学受験 保護者

5 年生の 5 月より日能研に入塾し、算数に苦戦していました。内向的性格でもあったので、分からなかったところを質問しておいでと送りだしても、「今日は質問している人が沢山いて聞けなかった」と、聞けずに帰ってくることも多かったです。期間講習の時に、ユリウスのチラシを持ち帰り、ここだったら質問することができて、算数の苦手が克服できるかと思い入塾を決めました。指導者の先生方が、入塾から継続的に見守って下さったので、安心して分からないところを質問できたり、苦手なポイントを知って下さっているからこそそのアドバイスや、宿題を出して下さい、親子共々安心して身を任せていました。また、ユリウスから持ちかえてきた先輩からのアドバイスのプリントに“過去問は最初はできなくて当たり前”や、“算数は夏期講習の 428 をひたすらやりました”というコメントがあり、それをお守りにして日々を過ごせました。また、過去問完成講座では合格最低点に 30 点近く届かなくても、「この 30 点すぐに取りれるようになれますよ」と的確なアドバイスを頂きました。何度も諦めそうになる私達の気持ちをいつも諦めずに支えて頂きました。夏以降、国語もお世話になりました。試験での問題に対する答え方などノウハウを教えることで、すぐに結果につながり、大切な得点源となりました。困った時には、すぐに電話をして相談にのっていただきました。息子のことをよく知り、理解し、アドバイスを下さる室長の峰さんに親子共々支えて頂きました。ここに書ききれない程、感謝の気持ちでいっぱいです。中学生になっても継続してお世話になる予定です。今後ともよろしく願いいたします！（中学生になった時の見通しを持たせたプリントもとてもためになりました！）

K 教室 S さん 中学受験 保護者

こちらでお世話になろうと思ったのは小学 6 年の年末。

塾で宿題がほとんど出なくなった頃から家で自発的に勉強する姿を見なくなり大丈夫かと聞くと「何をすればいいか正直全くわからない。」と言われ、啞然としました。塾にいる時間も相当に長く大変なものなので、家では最低限の宿題以外あまり口うるさく言わないようにしていましたが、塾の模試や過去問を解いても間違えた問題の解説は面倒がってほとんど見ないため苦手分野を克服できないまま成績は横ばい状態が続き、

同じ過去問を解いても毎回同じところを間違え合格点には届きませんでした。それでも志望校は変えたくないというので1月受験まで2か月を切った頃に、日能研で説明に来てくださっていたユリウスの先生に状況をお伝えし、これからでもまだ大丈夫と心強いお言葉をいただいたので、受験までの残り時間をお任せすることにしました。親に言われるのは嫌でも、先生から言われたことは素直に受け入れ真面目に取り組む性格？ではあるので、年の近い先生が色々な情報や雑談を交えながら教えてくれることで苦手分野にも興味を持つようになり、自信をもって受験を迎えることができました。

次回までの宿題として出していただく過去問をこなす中で出題傾向が本人に合っている学校もわかるようになり、そちらも重点的に対応いただきました。最終的に志望校より高い学校の合格を勝ち取ることができたのはこちらで自信をつけていただいたことが大きいと感じております。室長、先生方に感謝です！ありがとうございました。